

科目名		担当者氏名	授業形式	単位	開講時期
保育原理		小原 伸子	講義	2	前期
必修・選択	卒業要件	選択			
	資格要件	保育士資格必修 保健児童ソーシャルワーカー受験資格必修			
学習目標	保育の意義と重要性を理解し、専門職である幼稚園教諭・保育士になるものとして、社会が期待する保育者を目指し、子どもや保育を取り巻く状況を適切に捉えるための基礎的な知識を身に付ける。				
授 業 計 画					
回	項 目	授 業 内 容			
1	幼稚園と保育所	幼稚園と保育所の役割と機能			
2	認定子ども園	認定子ども園の役割と機能			
3	保育（１）	保育の意義、幼稚園教育要領がめざすもの			
4	保育（２）	保育所保育指針のめざすもの			
5	保育の内容	保育内容の変遷			
6	幼稚園制度の変遷	明治期から現在			
7	保育所保育制度の変遷（１）	明治期から第２次大戦まで			
8	保育所保育制度の変遷（２）	戦後から現在			
9	保育の現状と機能	幼稚園・保育所の現状と課題			
10	諸外国の子育て支援（１）	デンマーク			
11	諸外国の子育て支援（２）	アメリカ			
12	保育の方法的原理	間接性、自由性、自発性、興味性、経験性、個性重視、社会化			
13	保育の形態	縦割り保育、混合保育、など			
14	望ましい保育者（１）	保育者の求められるもの			
15	園と家庭との連携	連携の必要性、連携の方法、連携の実際			
参 考 書	金子美千子編著 「保育原理—保育者になるための基本—」 同文書院 2009 民秋言編「保育原理—その構造と内容の理解」 萌文書林 2006				
学習上の注意（自己学習、学外学習など）	受け身ではなく積極的な態度で臨むこと。				
評価の方法と時期	主に定期試験期間中の試験（80%）、授業態度・提出物（20%）により総合的に評価する。				